

プログラム番号	06074
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	徳島大学		
②学長名	青野敏博		
③所在地	〒770-8501 徳島県 徳島市 新蔵町2丁目24番地		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	学術研究国際部国際課・専門員	
	担当者氏名	森 隆文	e-mailアドレス ryugakus@jim.tokushima-u.ac.jp
	電話・FAX番号	Tel:088-656-7079 ・ Fax: 088-656-9873	
⑤ホームページ URL	http:// www. isc. tokushima-u. ac. jp/Admission/admission. htm		
⑥大学院在学留学生数	162人(うち、国費留学生 36人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	統合医療学際教育英語プログラム (Interdisciplinary Health Care Graduate Program in English)
②プログラムの形態	博士課程又は博士後期課程(4又は3年間)
③実施研究科・専攻	医科学教育部 医学・プロテオミクス専攻
	(所在地) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
④連携大学・研究科・専攻名	徳島大学大学院 口腔科学教育部 薬科学教育部 栄養生命科学教育部
⑤受入れ学生数	10人(うち研究留学生優先配置人数: 4人) (うち日本人学生数: 2人)
⑥担当教員数	合計 66人(うち専任: 65人、兼任: 1人、非常勤: 人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 医科学教育部長
	研究科長名 松本俊夫

【3. プログラムの内容】

統合医療学際教育英語プログラム (Interdisciplinary Health Care Graduate Program in English)

◆概要◆

健康生命科学諸領域を結集した新しい統合生命科学系大学院における英語特別プログラムである。本プログラムでは、医学・歯学・薬学・栄養学を統合した医療分野における学際的領域の教育と研究を中心テーマとして、発展途上国及び先進諸国から若い人材を招き、これらの領域における21世紀における課題についての教育を行い、かつ先進的研究を指導することにより、国際的な立場で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を養成することを目的とする。医・歯学から薬学、栄養学とともに分子酵素学並びにゲノム機能研究に及ぶヘルスバイオサイエンス分野の幅広い研究者が形成する研究拠点における高度な専門教育と共に、専門分野横断的かつ学際的な共通科目を受講することにより、広い視野を持つ国際的医療人を育成する。

◆目的◆

本プログラムは、ヘルスバイオサイエンスに関わる学際領域を含めた幅広い視野と、世界の最先端レベルの専門分野における学識を備えた修了生が、各専門分野での教育・研究者及び行政の専門家として出身国のみならず、国際的な協力機関で活躍することを目的とする。

① 国際社会貢献および指導者育成

医学、歯学、薬学及び栄養の全専攻系に共通するコアカリキュラム科目「国際コミュニケーション学」を設けて、発信型言語能力の開発・強化を目指すとともに、国際協力機構(JICA)との連携プログラムに基づく国際協力学の授業を実施。

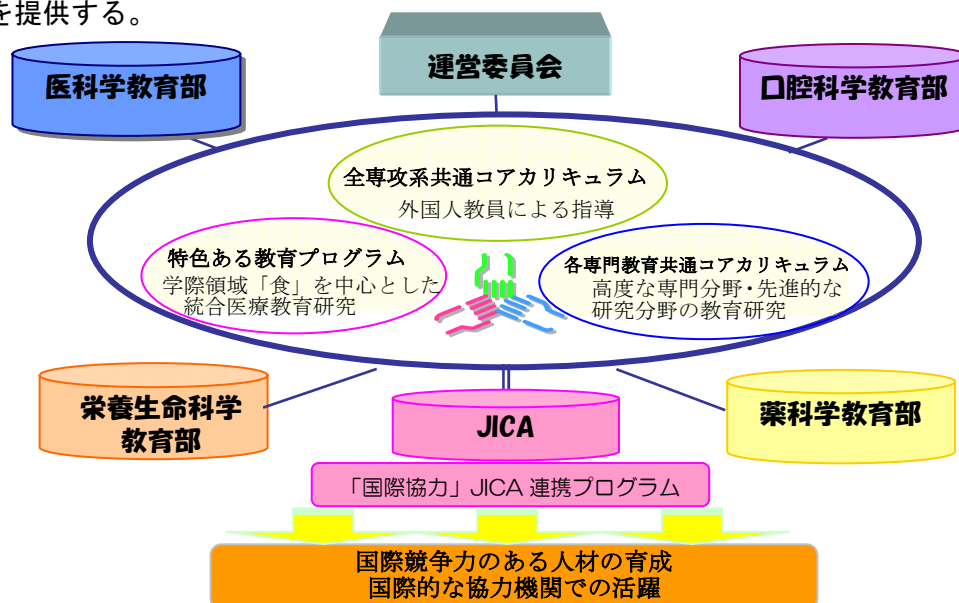
これらのコアカリキュラム科目は、外国人教員による授業担当を積極的に導入し、日本人学生にも履修の機会を与えることにより、日本人学生のグローバルリテラシーの強化を図るとともに、国際社会に対する貢献に指導的役割を果たす人材を育成する。

② 専門家の養成

医科学・口腔科学（博士課程：4年）／薬科学・栄養生命科学（博士後期課程：3年）の各教育部における専門教育共通コアカリキュラム科目を設定し、英語での高度な専門分野、先進的な研究分野の研究能力を育成して、国際競争力のある教育・研究者及び行政の専門家を養成する。

③ 特色あるプログラム

学際的教育研究領域として「食」を中心とした統合医療研究、とくに食品機能研究、食品の安全性評価と疾病予防、口腔機能管理学、さらに生薬学、漢方医学に及ぶ特色ある教育プログラムを提供する。



◆使用言語◆

英語による授業を行う。

◆募集定員◆

募集定員としては、以下のとおりとする。

医科学（博士）、口腔科学（博士）、薬科学（博士後期）、栄養生命科学（博士後期）

外国人留学生 8人（うち4人を研究留学生優先配置として推薦する）

日本人学生 2人

外国人留学生は、日本側受け入れ予定教員が、原則として学術交流協定を締結した大学を中心とする学術交流のある相手国の大学の教員の推薦により受け入れる。

◆修了後の進路◆

本プログラムにより、習得した高度な専門的かつ学術的教育研究能力を活かして、自国並びにWHO、JICA等の国際的協力機関で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家が育成される。

◆フォローアップ◆

徳島大学蔵本キャンパスには、藤井・大塚国際教育研究交流資金による国際交流事業が運営されており、本プログラム修了後帰国した留学生を短期間外国人（若手）研究者として招へいする制度も整備されている。また、国際連携推進室会議主催による国際展開推進シンポジウムは毎年3名程度の帰国後留学生を招へいするもので、修了者のフォローアップ体制として企画運営されている。

◆教育・指導体制◆

徳島大学は、平成16年度より医・歯・薬の3学部の教員を結集した大学院ヘルスバイオサイエンス研究部を発足させ、分子酵素学研究センター、ゲノム機能研究センターとともに、医科学、口腔科学、薬科学、栄養生命科学の4教育部を国際的かつ統合的な医療人を育成する我が国でも唯一の教育・研究拠点として、その整備充実に組織的に取り組んでいる。

本プログラムの教育・指導体制を一元的に管理・運営する組織として運営委員会を設置している。

国際コミュニケーション学分野の授業科目において、英語論文作成についての講義を外国人教員を中心にして実施して、論文指導の実践的修練を行う。

◆既設英語特別コースの継承と新英語プログラムにおけるイノベーション◆

平成14年度に設置された英語特別コースは、21世紀における世界的な保健医療システムの課題である生活習慣病、新興及び再興感染症、人間環境の悪化に対して、従来の医学、歯学、薬学及び周辺の科学を包括した一次予防分野における国際的な教育と研究の必要性に鑑み開設された。

徳島大学には、医学部に医学科、栄養学科及び保健学科があり、歯学部、薬学部及び学内共同教育研究施設として分子酵素学研究センター、ゲノム機能研究センターなどがあり、独自性の高い生命科学研究の国際的研究拠点を形成している。その後、徳島大学ではヘルスバイオサイエンス研究を目指す新しい生命科学系統合大学院が設置され、この大学院における研究領域横断的な新しい学際的教育システムの開発を、医療教育開発センターを設置して推進している。

本プログラムは、既設の英語特別コースをこの統合大学院における特別プログラムとして位置づけて、そのさらなる充実を図るものであり、下記のような新たな取り組みを行う。

**統合医療教育学際教育英語プログラム
(Interdisciplinary Health Care Graduate Program in English)**

◆全専攻系共通教育カリキュラム

外国人教員による授業科目（国際コミュニケーション学・国際協力学）

◆JICAとの国際協力に関する連携推進事業に基づいた授業

◆私費外国人留学生に加え日本人学生も対象とし、国際的な人材を育成する。

◆日本人学生と私費外国人留学生の春季（4月）受け入れ